



大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい児童生徒の育成」

文責 浅利 進



新しい年、令和6年（2024年）がスタートしました。保護者の皆様におかれましては、昨年中は本校学校教育推進のため、陰に陽に多くのご理解・ご協力を賜りましたこと厚く感謝申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、令和6年は辰（たつ）年です。辰年は十二支の中で唯一、架空の生き物です。十二支に辰年が入った理由は諸説ありますが、辰は中国では非常に縁起の良い生き物であり、権力を意味する動物だとい

うものです。干支の考え方を広めるために、縁起が良く神聖なイメージがある辰を十二支に選んだという説もあります。また、辰は「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。今年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になるのではないのでしょうか。また、辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感を持って近づける年となるよう期待が持てると思います。

始業式では「目標を立てる」ことについて話をしました。新しい年に目標を立てることはとても大事なことです。多くの目標を立てる必要はありませんが、今年はこのことに向かって努力しようという気持ちが行動に現れ、行動の積み重ねが結果となって、成長につながると思います。ただし、目標はあまり大きいものでなくてもよいと思います。「昨年は勉強時間が確保できるようになってきたから、10分長く勉強する。」のように、すぐ手に届きそうな目標を立てるのがよいですね。そして、そのためにはどうするか考えて行動します。できるまで繰り返し考えて取り組んでみるのです。達成できたら、次の目標を立てればよいのです。1年間で大きな目標を一つ立てるより、できそうな目標をどんどん達成して、「自分は努力すれば、こんなにできるんだ！」という気持ちを作りましょう。

写真の初日の出は、私の家から撮影したものです。良い天気でほとんど雲もなく、今年はいくまでになくよい年になりそうな気がしました。

若草中学校の新しいスタート！

昨年の12月18日に後期生徒総会がありました。令和5年度の生徒会本部役員を中心に、感染症防止を意識しながらも、多くの行事や活動に取り組み、全学年の生徒のアンケート結果をまとめ、反省を行いました。「Let's Love 大好き若中アンケート」の中で、ほとんどの項目で9割以上の肯定的意見が見られました。もちろん8カ月を通してみるとできなかつたり、意識しなかつたときもある



【家庭用】 カラー版は若中HPにアップしています

と思います。でもまとめとして、今年度の生徒会活動への意識が高かったことは間違いなしだと思います。『生徒会活動スローガン「結～愛する若中・誇れる若中～」のもと、クラス・学年・全校の仲間との結びつきを感じられ、[愛し・誇れる若中]を創っていく実感を得ることができましたか?』という質問に対して、99%以上の生徒が肯定的な回答をしました。100%ではないことは残念でしたが、今年度の生徒たちが様々な活動に力を合わせて取り組んだ結果が、「愛し・誇れる若中の創造」であったことに感動しました。人によって感じ方は色々でも、多くの生徒が母校を愛し、誇れる学校づくりに取り組んだということは素晴らしいことだと思います。この結果が今年度の成果であり、来年度へのスタートになります。

また、今年度は若草中のきまりの見直しについても取り組みました。集団で生活するためには、自分だけではなく他者についても考える必要があります。そして、集団として責任をもって生活するための指針をきまりといいます。例えば若草中学校の生徒として意識を高め、誇りをもって生活するために、制服や校歌があります。制服をきちんと着こなし、大きな声で校歌を歌うことで、若草中学校の生徒としての自覚を高めようということです。学校生活の中の様々な場面でそのようなきまりがあるのですが、年々社会が変化していくうちに、改変しても



良いのではないかと、という内容も意識されてきました。昨年度の生徒会本部を中心に靴の色の指定の見直し取り組みが始まり、今年度はそれを引き継ぎ、そのきまりを変えるために具体的に取り組みました。全校生徒が意識を高めた結果、最終的には靴の色と靴下の色のきまりについて改変することとなりました。生徒が積極的に行動したことは、今後につながることでと思います。今後も若草中学校の生徒集団としてより良い学校づくりを目指した取り組みを続けてほしいですね。この先輩の素晴らしい成果を引き継い

だ新生徒会本部役員の皆さん、今後の活躍を期待します。このスタートを大切にしてください。

残りの学校生活をどう過ごすか。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という言葉を聞いたことがありますか? 1月は新年の休日や、年の始めで行事が多くすぐ終わってしまい、2月はもともと日数が少ない上に休日が2日もあり、逃げるように終わってしまう。3月は日本では「年度の終わり」として進級、進学、就職、異動・・・と、忙しさにまぎれてあっという間に過ぎてしまう。2月をもうすぐ迎える今、皆さんは今年度の残りの学校生活をどのように過ごしますか? 「若中文化」を築き、継続・発展させている3年生。これから、ほとんどの人にとって最初で、最大の人生の壁である受験が控えています。長い人生において何度か訪れるこの壁は、「自分を見つめ直すこと」そして「自力(=実力)をつけること」につながる人生の節目となります。自分を信じて、指導をしてくれている先生方を信じて、そして応援してくれる家族や仲間の気持ちを受け

て、ぜひ乗り越えて行って欲しいと思います。全校の生徒・先生方が応援しています。そして、中学校3年間のまとめとして確かな足跡を残す3学期にして欲しいです。1, 2年生の皆さんはまだ中学校での生活が続きますが、確実に成長しています。互いが切磋琢磨し合い、後輩たちから憧れられる先輩としてさらに成長できるよう、わずかな3学期をしっかりと過ごしてください。

